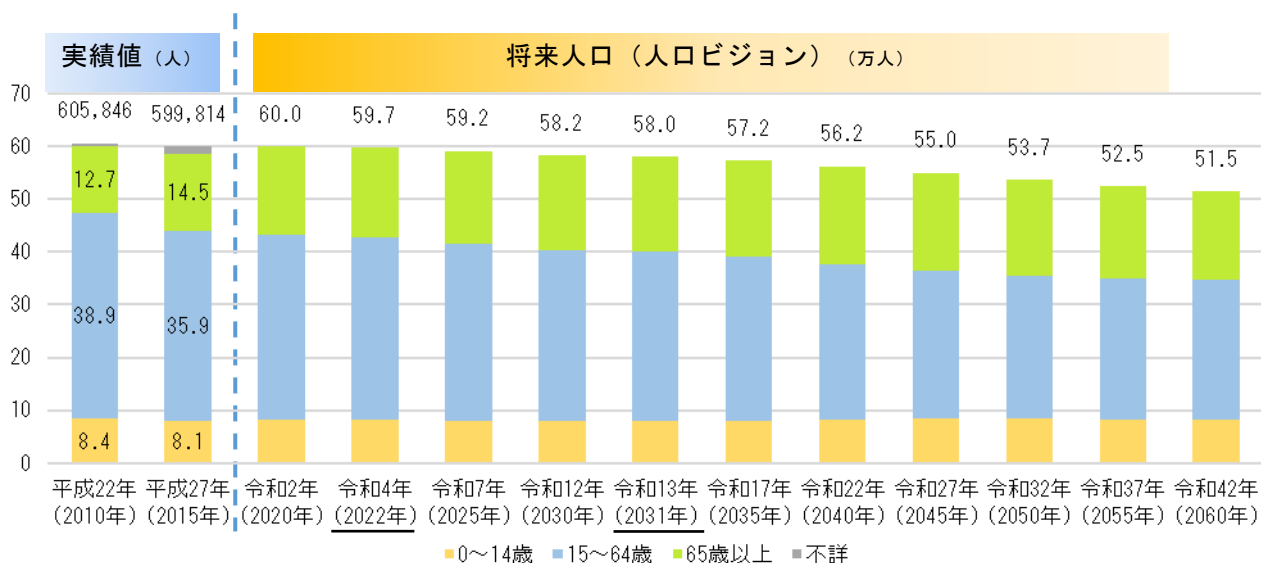


（３）将来推計

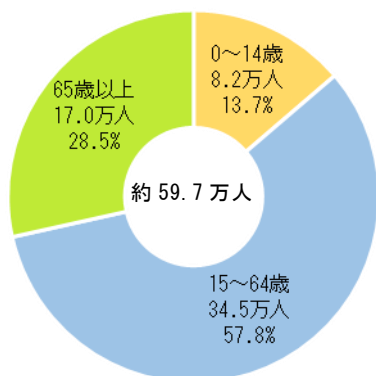
①人口

○本市将来人口の展望

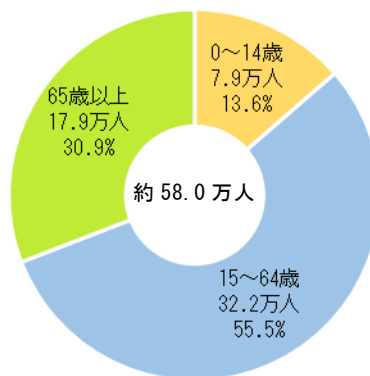


○計画期間における年齢3区分別人口構成

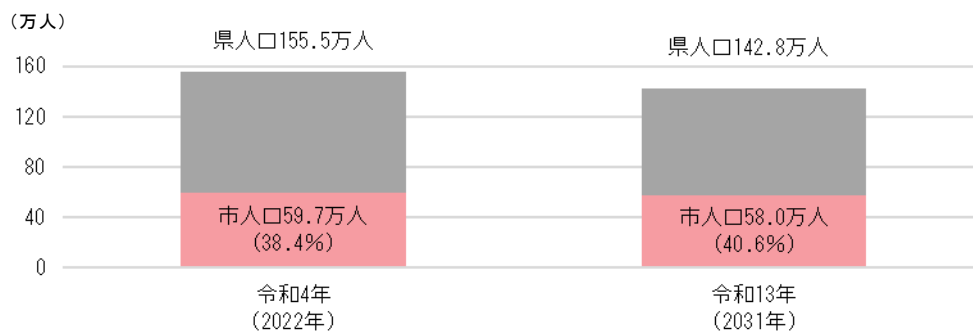
【令和4年(2022年)】



【令和13年(2031年)】



○計画期間における県人口に占める本市人口のシェア



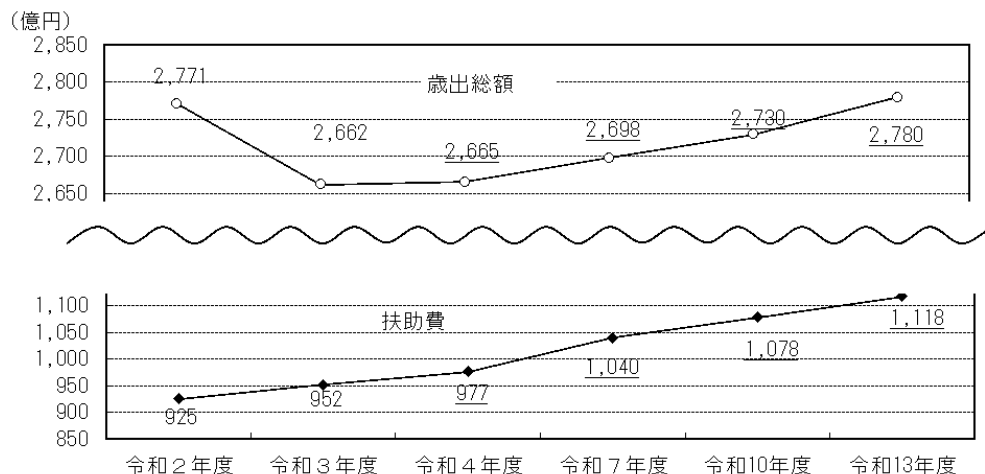
（注1）平成22年及び平成27年は国勢調査による実績値（総人口には、年齢不詳含む）

（注2）令和2年以降の鹿児島市人口は、「鹿児島市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」で示された将来人口の数値を基にした推計値であり、県人口は「第2期鹿児島県まち・ひと・しごと創生総合戦略」で示された将来人口（自然動態国準拠）の数値を基にした推計値である。

（注3）単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合がある。また、構成比は小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

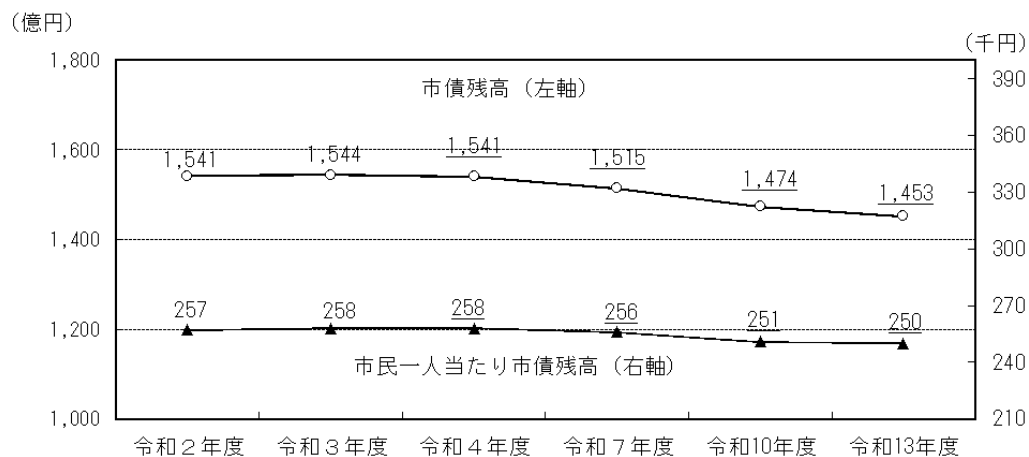
② 財政

○本市の一般会計歳出総額と扶助費※の将来推計

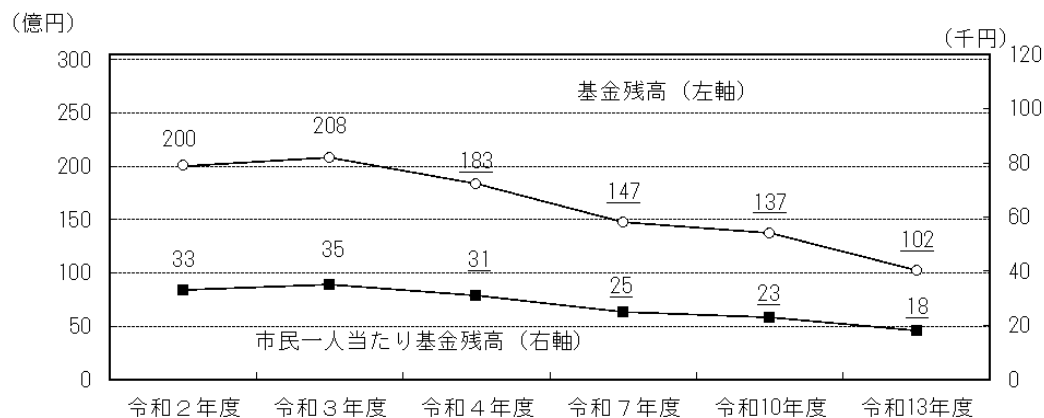


※扶助費：生活保護費、子育て支援など、福祉や医療に係る費用。

○本市の市債残高と市民一人当たり市債残高の将来推計（臨時財政対策債を除く）



○本市の財源調整可能な基金残高と市民一人当たり基金残高の将来推計



(注) 令和2・3年度は当初予算ベース。令和4年度以降は、内閣府が作成している中長期の経済財政に関する試算などを基に算出した推計値。